

嚮陽会館複合交流施設整備基本計画(素案)に関するパブリックコメントにおける意見一覧および市の考え方

番号	意見	回答	参照頁
1	ユニバーサルトイレの設置など、社会的な支援が必要な市民が使いやすい設備の設置を求める。	利便性、経済性、安全性に配慮した改修を行う計画としており、トイレをはじめ、多様な人が快適に施設を利用できるよう、ユニバーサルデザインに配慮してまいります。	12
2	私は(男の子5歳、女の子2歳)のひ孫を週、2日ほど子守りしています。鯖江には全天候型の遊び場がなくて、雨の日、冬季は大変です。マンションは狭くて子供たちを思いっきり遊ばせることができません。幸い、私の家は割りと広いので、ボール投げやら縄とびを家の中でさせています。越前市のだるまちゃん広場や天狗ちゃん広場をよく、利用しています。早急に鯖江に子供たちの遊び場を造って頂きたいと思います。	新たな嚮陽会館は、ホール機能を中心とした「文化」的要素に加え、新たに「子どもの遊びと学び」、の要素、「市民活動」の要素の3つが一体となった複合交流施設となります。遊び場の具体的な内容は今後検討を進めていきますが、市内初となる屋内型子どもの遊び場を整備し、「子どもとともに、多様な人が集い、新たな交流や連携を育んでいく」拠点づくりを目指します。	10
3	NPOセンターを市民の展示スペース用として常時人はいない施設とし、嚮陽会館の多目的ホールを2階建てにして2階部分に沢山の民間団体が入れられるようにしてより活発な動きができるようにプッシュ型の支援をお願いしたいです。活動実績によって次年度から入れるかどうかを見極めるていただくシステムも取り入れて頂く事も合わせてご提案致します。専用スペースが有ると予約確認無しでいつでも打ち合わせが出来て何よりもやはりモチベーションが上がります。そして、5年後に45年も経つ嚮陽会館改装して維持するなら、進徳小学校の児童数減少から惜陰小学校への合併の可能性があるなら、そこに維持管理費も予算計上して新築した方が30年から50年スパンで考えると結果的に金額が安くつく可能性があるのでは無いでしょうか。とりあえず嚮陽会館に子どもの遊び場だけ作って進徳小学校の件がはっきりするまでは、NPOセンターはそのまま使い、嚮陽会館の場所を売りに出して原資を作るのが良いのではと思います。角地の一等地は買い手がきつくと有ると思います。団体の属性や成り立ちによってモチベーションの保ち方はそれぞれかと思いますが、日本一市民主役を進める自治体であって欲しいと思います。日本一の市民主役の町となる為に、行政は使わせてあげるから使ってください。市民は用意しろから使わせていただき感謝申し上げます。の関係が大切だと思います。やはり専用の部屋は必要であり、市民団体をホームレスにしないでください。	市内小学校の統廃合について、市として現時点で検討しておりません。本計画では、嚮陽会館の2階に市民活動や交流を支援する市民活動の場として、会議やイベント等多用途に利用しやすい部屋を配置する方針としております。また市民団体支援機能のうち、個別団体の事務所や倉庫機能については、嚮陽会館は西山公園(都市公園)区域内施設であることも踏まえ、整備することはできません。しかしながら、市民活躍団体の皆さまとは、今後の団体活動について協議を進めたいと考えております。また、NPOセンターのあり方については、様々なご意見をいただいておりますので、今後、あわせて協議を進めてまいります。	16・24
4	嚮陽会館の改装を行う資金をもっと捻出する為に居住とモール型の地元の商店街も入る複合施設の建築が良いと思います。嚮陽会館の周りから柱を建てその上に高層マンション&シルバー世代の住居施設を作る。そしてその1階2階には医療施設と商業施設を作って天候に左右される事無く快適な老後を送る事が出来て子どもや孫や親戚も遊びに来てくれるようになり街が活性化されると思います。改装の発想から増築の発想にシフトしてマンションや商業施設は不動産業者やデベロッパーに任せて鯖江市へ税金と使用料金を納める事で市の財政が豊かにもなると思います。そして市民活動の方々がホームレスにならないように専用スペースも確保していけると考えています。それからネーミングライツ契約にて運営費の確保も提案させて頂きます。ネーミングライツは他の市町でも例があります。資金不足で中途半端な対応になるなら資金が生まれる方法を考え日本の自治体のロールモデルになるような対応にて市民活躍のまち鯖江市を広くアピールする大きなチャンスだと思えます。是非共、縮小均衡の考えから拡大プッシュ型の計画を立ててくださいますよう重ねてご提案申し上げます。	パブリックコメントでは、今回、市が提案いたしました基本計画(素案)の内容につきまして、ご意見をいただくこととしております。したがって、今回のご意見につきましては回答いたしかねます。	-
5	総工費24.5億円あれば、改修ではなく新築も視野に入るかと思いますが、比較検討したデータを公開いただきたいです。	嚮陽会館は間部公の嚮陽溪にはじまる西山公園とともに歴史を築いてきた建物で、市はこの建物を時代にあわせ、次の時代に引き継いでいくことが重要だと考え改修をすることといたしました。また本市が保有する公共施設について、計画的な保全を取り組み、施設の多機能化・複合化を進めることにより、サービス水準を維持しながら、施設総量の削減を図るため、嚮陽会館を複合化し改修を行います。そのため、新築の想定はしておりません。	-
6	福井高専観光都市工学科、改修では耐震性は回復しないという研究結果がありましたので、耐久性を含め、長期間安心できる施設になることを確認したいです。	嚮陽会館は昭和59年(1984年)に新耐震基準(現行法と同じ基準)で建設された建物であり、耐震性について問題はございません。既存不適格の項目の改修や特定天井を耐震天井に改修するなど、安全性を確保し、利便性、経済性に配慮した改修とします。	12・20
7	駐車場がしばしば満車となり利用できないことが多いですが、資料内に具体的な言及がありませんでした。駐車場拡大の計画はありますか？	駐車場については、西山公園との連携強化をあわせて、駐車場拡張や機能強化等を検討してまいります。	24
8	多目的コミュニティ施設としての活用法 大型ビジョンによる”パブリックビューイング”の出来る設備の導入。 例えば、他の地域の人とイベントなどの中継やリモートによるライブ感のある企画ができる。オリンピックなどの応援、高校野球、サッカーなど地元から出た選手の活躍がみれるといいですね。 文化交流もできそうです。都会に行かないと見ることのできない講演会、音楽LIVE、お笑いライブなどの鑑賞会です。地元のフェスを発信もできそうですね。	多目的に利用可能で利用しやすい施設改修を目指しており、現在の多目的ホールを「みんなのホール」として、ギャラリーの「わくわくの広場」等をあわせて、様々なイベント等の対応や利用者ニーズに沿った柔軟な対応が可能な空間として整備してまいります。	12・15
9	皆さんが使いやすい、施設にしてください。	「子どもとともに多様な人が集い、新たな感動や交流を共に創り育む拠点づくり」をコンセプトにより多くの方が利用しやすい施設整備を進めてまいります。	10
10	今までの市民の意見も反映された良い計画だと思いましたが、遊び場について「※メインターゲットは概ね3歳以上から小学校低学年を想定」と記載されていて、逆に2歳以下の乳幼児連れに対しての過ごし方も想定されているかが気になりました。その点も十分な準備をお願いいたします。	メインターゲットは計画に記載のとおりとしておりますが、兄弟姉妹にも配慮し、うきうきの丘では、乳幼児スペースを設けるなど対象年齢でゾーン分けをする計画としております。	14・17
11	あそび場に、出張図書館機能を入れてほしい。 幼児向けの絵本、親向けの雑誌、親向けの育児&教育系の本を中心に、このあそび場で見られることもできて、ここで借りてここでまた返すこともできるように。	様々な遊び、学び、体験を提供する場として、階段状のスペースでは絵本が読めるなどの利用イメージを設定しています。今後、図書館との連携も含め検討してまいります。	-

番号	意見	回答	参照頁
12	越前市の市民プラザ3階にある【多目的室2】のような、鏡があり防音の部屋があると嬉しいです。市民の方たちで集まってヨガをしたり、健康体操や子どもたちがダンスの練習をしたり、町内の集まりをしたりと、色んな年代の方みんなが集まりやすいと思います。たくさんの笑顔が集まる施設になるよう願っています。よろしくお願いします。	多目的に利用可能で利用しやすい施設改修を目指しており、大会議室は会議として使用できるほか、体操教室や文化教室など、多様な方が多目的に使える室として、また「わくわくの広場」も様々な展示やイベント等の対応や利用者ニーズに沿った柔軟な対応が可能な空間として整備してまいります。	18・19
13	子どもや保護者が、健康者であるとの想定はやめてほしい。車の親や車椅子の子供でも一緒に遊べる場所が理想的。段差がない、スロープがある、靴の脱ぎ剥ぎが不必要など。また、子供用のトイレ、車椅子やベビーカーの入れる広さのトイレが必要。そして、子供の年齢ごとの遊び場、貧困問題にも適応してフードバンクやSDGSに応じる形で、不必要なおもちゃ、洋服。必要な人の手に渡るようにしてほしい。	多目的に利用可能で、利用しやすい施設改修とすることを旨としており、多様な人が快適に施設を利用できるよう、ユニバーサルデザインに配慮してまいります。	12・14
14	扇型の多目的ロビーのところは、子供の遊びのスペースを半分程つくる。身体を使って遊べる遊具で、木製のもの。外の芝生の所も、人がくつろげるスペースをつくる。日陰をつくるために木を植えて木陰をつくりベンチを置く。簡単な遊具もおく。できれば少し畑にできるスペースも駐車場の方に作れば、コンポストを設置したりしてサステナブルな野菜作りを体験できる場所にする。畑は希望者を募集して使ってもらおう。	建物内の主な機能の配置に関する方針では、現在のギャラリーを常設型の遊具を設置した子どもの遊び場(うきうきの丘)と子どもたちが多様な体験・学習・交流などフレキシブルに利用可能なギャラリー(わくわくの広場)として、また現在のプロムナードは、屋内外と連携したイベント等の利用促進につながる空間として整備しますが、遊び場の具体的な内容は今後検討してまいります。屋外の駐車場や広場については、西山公園との連携強化や駐車場機能強化等を一体的に検討してまいります。	14・15・24
15	嚮陽会館に全天候型の子どもの遊べるスペースを作ったら良いと思います。隣は西山公園もあるし、人が集まると活気ある市になっていくのではないのでしょうか。二階の会議室は残したら良いと思いますが会議室の中の机や椅子はとても使いにくいと思います。もっと多目的に使いやすいような部屋にした方が、いろいろなイベントなどにも使えると思います。	新たな嚮陽会館は、市内初となる屋内型子どもの遊び場を整備し、「子どもとともに、多様な人が集い、新たな交流や連携を育んでいく」拠点づくりを目指します。多目的に利用可能で利用しやすい施設改修を目指しており、大会議室は会議として使用できるほか、体操教室や文化教室など、多様な方が多目的に使える室として、また「わくわくの広場」も様々な展示やイベント等の対応や利用者ニーズに沿った柔軟な対応が可能な空間として整備してまいります。	10・19
16	収容人数700人以上の大きなホールでイベント(飲食含む)が1会場で行える様になる事を提言させていただきます。駐車場の拡大を意見させていただきます。鯖江市として国の土地の指定管理を任せられていると聞いてますが、公園の定義にこだわり過ぎて、敷地の利活用が全く意味をなしていないと感じます。駐車料の確保も含め維持管理をするためにも、大きな収容が大きな力になると思います！理由:同世代が現在では700名程度なので大きさの定義は、そこに合わせております。	現在の多目的ホールは全面、全席椅子席の場合は約700名収容可能となっております。本計画では現在の多目的ホールを「みんなのホール」として改修し、ギャラリーの「わくわくの広場」等をあわせて、多様な利用者が交流できるように一体的利用可能な空間とします。駐車場については、西山公園との連携強化をあわせて、駐車場拡張、機能強化等を検討してまいります。	12・15・24
17	大変な枚数の基本計画を読ませていただきました。うきうきの丘・わくわくの広場・やさしさの小部屋など、子どもの遊びと学びに対応した素晴らしい施設がイメージとして浮かびました。ただ、そのほかの文化や市民活動の部分で少し気になることがあります。市民活動団体が使用できる会議室やコワーキングスペースは、一般市民や高校生の学習場所と共有することになります。現在のNPOセンターでも一部問題が発生していますが、「子どもたちが勉強しているので会議中の声は小さい声でお願いします。」と。このようなトラブルが発生する可能性がこの基本計画でも予想されます。2階廊下の一部や交流カフェスペースでの自主学習スペース共有は、飲食も可能なことから一層困難だと思います。中高生の学習スペースと会議や歓談交流のスペースはきちんと分けたほうが良いのではないのでしょうか。静かな学習環境は部屋の限定使用にしてほしいと思います。市民活動団体の交流や打ち合わせを活性化するには、大声を出さないとかバタバタ動かないなどの制限が発生するようなことは考えられません。今、地区公民館でも中高生に勉強するスペースを作っています。そちらの活用を推進したほうがよいのではないのでしょうか。このスペースで、すべてを満足させるのは無理ではないですか。	コワーキングスペース、交流カフェスペースにつきましては、利用にあたって特に制限を設ける予定はなく、不特定の利用者皆さまがそれぞれの目的でスペースをご利用いただきたいと考えております。また同じスペースを共有することで、市民活躍団体の皆さまと学生の皆さまが交流できる場となることを期待しております。中高生の学習スペースの確保については、目的に応じた選択ができるように、市内公共施設の有効活用を検討してまいります。	18・19
18	子供たちが雨の時に思いっきり遊べる場所が欲しかった。これだと親の交流メインになってる気がする。交流広場ばかり広くて肝心の遊具が全然ない。これじゃ取り合いになって全然遊べないと思う。子どもがしっかり遊べる場所をまずは作って欲しい。このままだと結局子供は遊べないから若い世代は行かなくなって、暇を持て余したじじいばばの無料集会所になって終わる。この繰り返しはやめて欲しい。親が望んでるのは子どもが本当に楽しく遊べる場所。無理やり何がなんでも交流させようとしてくるのはやめてほしい。あと意見をみんなお願いしますって言いながらここまで個人情報ばんばん書けて求めてくるのはどうでしょう。実名、住所、電話番号まで晒す気はありません。本当に市民の声を聞かぬなら匿名アンケートでいいのでは。	嚮陽会館(複合交流施設)のコンセプトとして「子どもとともに、多様な人が集い、新たな感動や交流を共に創り育む賑わい拠点づくり」をしています。天井の高さを活かした立体的常設遊具等を配置、空間利用をはかり、鯖江市らしい「遊びと学び」が具現化できるよう検討してまいります。	10
19	現在のハローワークは維持し、2階に移設する計画となっておりますが、2階に上がるのは利便性が悪くなるので、子どもを連れて行く場合等を考えると、遊び場がある1階の方がいいと思います。	新たな嚮陽会館は、より多くの方が利用しやすい施設を目指しております。ハローワークにつきましても、市民活動サポートセンターとあわせて、利便性を考え、今後、関係団体等と協議検討してまいります。	
20	中庭(竹林)を残す理由が分からない。竹林ある・なしで利用者数が変化すると思えない。中庭のスペースにカフェなどの飲食店を入れて、既存飲食スペースを別利用の方が施設を有効活用できるのでは。予算の問題があるのは分かるが、増築などで多目的ホールの収容人数を少しでも増やせないか。コンベンションとして利用するには小さいと感じる。駐車場台数を増やしてほしい。駐車場ときょうよう通りの間の遊歩道？が無駄に大きいと感じる。休日でも利用している人はわずかではないのか。	中庭はテラスを設け、子どもたちの自然体験や飲食ができる場所等など有効活用を図ります。多目的ホールは「みんなのホール」として、全面椅子席の場合は700名収容可能であり、ギャラリーの「わくわくの広場」等とあわせて、多様な利用者が交流できるように一体的利用可能な空間とします。駐車場については、西山公園との連携強化をあわせて、駐車場拡大、機能強化等を検討してまいります。	9・12・15・24
21	・ベビーカー、車椅子、寝たきりの方のバギーなど、移動がしやすい通路は絶対。 ・赤ちゃんのオムツがえ用の小さなベッドだけでなく、ユニバーサルシートのある多目的トイレを。 ・バリアフリーの休憩室(救護室的なプライバシーが確保されている別室があってもよい) ・駐車場の身障者用スペースは、スペースを必ず確保のこと。 福祉車両にはスロープがついてるので、その大きさも加味して。身障者用駐車場は屋根付きだと親切だと思う。	利便性、経済性、安全性に配慮した改修を行う計画としており、トイレをはじめ、多様な人が快適に施設を利用できるよう、ユニバーサルデザインに配慮してまいります。駐車場については、西山公園との連携強化をあわせて、駐車場拡張、機能強化等を検討してまいります。	12・24
22	嚮陽会館改修についてですが、全国的にも近年取り入れられ始めましたが、子育てに限る事なく、是非、高齢者の居場所、生きがい創出とセットで、新しい施設を考案していただきたいのです。コロナ以降子供は幼い頃からネットに埋没し、高齢者は行き先を失い、認知障害と、家族の苦悩はますます深刻化しています。双方を補完させていく試みは、未来に向けて不可欠です。文化的レベル高く、ボランティア精神豊かな、この鯖江の地にも、是非お願いします。	新たな嚮陽会館は「子どもとともに、多様な人が集い、新たな感動や交流を共に創り育む賑わい拠点づくり」をコンセプトに、子どもから高齢者まで様々な方が利用しやすい施設を目指してまいります。	10

番号	意見	回答	参照頁
23	<p>本複合施設のキラーコンテンツは、<子供の屋内遊び場>でしょう。 単に遊具が設置されているだけでは、どこにでもあります。子供の場合は、<遊ぶ>と<学ぶ>は、区別がありません。 あそびながら、学べる仕掛け作りが必要です。 そこで提案です。図書館機能の一部も担わせてはいかがですか！ 参考として、隣県の施設を案内させていただきます。石川県立図書館こどもエリア <追記> 素案は全体として、市民の最大公約数を取り入れる努力は、評価しますが、施策の言い訳になってませんか。</p>	<p>子どもの遊び場は、創造性や自発性を育む場とし、ギャラリーも活用しつつ、地域学習、ふれあい、交流、体験等の場を提供することとします。様々な遊び、学び、体験を提供する場として、今後、図書館との連携も含め、検討してまいります。</p>	17
24	<p>人口減少対策として、魅力ある市をうたわれている中、基本計画からオープンまでが長すぎる。急務である。 子どもの遊びと学びについて 安全面、衛生面の保障 ・この場は全面下足禁止 ・専門職員を配置(子どもだけ置いて、保護者がいないことが発生したらどうするのか) ・障害者の方や妊産婦の方の安全(エレベーターの設置) ・2階の手すりの高さや強度の保障 ・基本、木製の遊具設置(めくもりのあるもの) ・子どもの遊び場は自由に伸び伸びと遊べて、親子が楽しめる場 イベント、発表はみんなのホール等とする ・イベント、発表、学習交流に利用するのなら、喜々と自由に楽しんで遊んでいる子に制約がかからない配慮 ・やさしさの小部屋の延長線に乳幼児の安全な落ち着いた落ち着きのあるコーナーをつくる ・かくれ家的空間をつくる 子供は探検ごっこやかくれんぼを好む 隠れたり、穴からのぞいたりできるトンネルなどの場 で友達が自然にできる ・手洗い場の設置 ・開設日 日曜日？土日は親子で楽しめる場を望んでいます この計画にはとても期待しています</p>	<p>事業スケジュールについては、嚮陽会館をなるべく休館せずに工事をやりたいと考え、また国や県の補助金や交付金等の財源を活用しながら整備を進めていきたいことなどから、計画に記載した予定となっております。 利便性、経済性、安全性に配慮した改修とし、子どもの遊び場については、安全性は確保した上で、子どもたちが楽しく遊び、学べる場として整備します。 管理運営も含めて、具体的な内容は今後検討してまいります。</p>	12・23
25	<p>駐車場が有料なので長時間の利用がしにくい。無料にするなどの配慮がほしい。 全身運動ができるようなアスレチックや大きな遊具など、家でできない遊びができるようにしてほしい。 保護者交流の場を設けるとすれば、その間子どもを遠くから見守ることになる。スタッフの方に近くで見守ってもらえると嬉しい。 階段が多くて小さな子どもには危ない。両側とも階段にするのは多すぎる。ギャラリーのフェンスも高さによっては心配。 スペース全部土足禁止にした方がよい。長靴を入れられる大きな下足入れが必要だと思う。 パンダランドのように、何かメインとなるキャラクターがあると良い。メインの遊具をドーンと置いてほしい。 完成が6年後では遅すぎる。遊び場の流行も変わっていると思う。今の子どもたちが小学生になったときに遊べる場もほしい(越前市のてんぐちゃん広場のような)。</p>	<p>利用しやすい施設づくりに向けて、駐車場利用に関する情報の提供や、ピーク時の駐車場利用の抑制や閑散期の利用促進に向けた新たな取組み(料金割引等)についても検討してまいります。 子どもの遊び場は、天井の高さを活かしたダイナミックな遊びや学びができる空間を創出します。 利便性、経済性、安全性に配慮した改修とし、子どもの遊び場について安全性は確保した上で、子どもたちが楽しく遊び、学べる場として整備します。</p>	17・24
26	<p>我が家には、寝たきりで医療も常時必要な子供たちがいるので、そのような状態の子供たちにも配慮された遊び場であると嬉しいです。 動線的には、広い駐車スペースや駅からも車椅子やバギーでスムーズに移動が可能であること、屋内で遊ぶスペースもあったり、インクルーシブ遊具のような、誰でも遊べるもの、トイレには、ユニバーサルシートや長椅子みたいなもの、十分なスペースがあると有り難いです。</p>	<p>利便性、経済性、安全性に配慮した改修を行う計画としており、トイレをはじめ、多様な人が快適に施設を利用できるよう、ユニバーサルデザインに配慮してまいります。駐車場については、西山公園との連携強化をあわせて、駐車場拡張、機能強化等を検討してまいります。</p>	12

番号	意見	回答	参照頁
27	<p>友人が老朽化を指摘していましたが、言われてみれば…と私も思いました。細かいことで申し訳ないのですが、人工芝をひくのは反対です。下が土ではないから、ということかと思いますが、見せかけの芝を使ってほしくないです。あまり会館自体に入ることがないので、図面だけではイメージできないのですが…</p> <p>子どもの年齢によるかもしれませんが、子どもを遊ばせて、親は雑談、は危険かなと思います。子どもが遊ぶ施設がオープン過ぎるため、万が一外に出まわらないか、不安だからです。</p> <p>空間はオープンだとしても、入り口が一つで簡単に飛び出せないのならいいのですが、現状では人に紛れて出てしまう可能性があります。子どもの特性によってはあり得るし、兄弟を連れていくと、オープンすぎる空間は同時に見守るのは難しいかと思えます。</p> <p>そう思うと、親が見守るスペースは、入り口側に寄せると、まだ防げるかもしれませんが。</p> <p>しかし、トータルでは、親が子どもを安心して自由に遊ばせれる、そういう設計にはなっていないと思います。</p> <p>また、我が家は障がい児がいるのですが、そのような子ども達が気兼ねなく遊びに行ける配慮を希望します。</p> <p>障がい児がいる家庭は、孤独を感じやすく、遊び場に連れて行くのも勇気がいります。</p> <p>パニックになったら？奇声をあげたら？悪意がない周りの視線にも、敏感になっています。そんな時に、知識のある先生や先輩お母さんが、お子さんはもちろん、お母さんに対しても「大丈夫だよ」「きっと葛藤してるんだよね」と、自然に共感してもらうことの心強さは、経験している人しか分からないと思います。</p> <p>そのような親子が行きたいと思える施設にするには、場所の支援ではなく、人の支援が必要だと思います。</p> <p>我が家は時々、支援センターのにじいろさん、てんぐちゃん広場に遊びに行くのですが、てんぐちゃん広場は場所の整備は素晴らしいですが、私は寂しい空間に感じています。</p> <p>にじいろさんは、先生方が温かく迎え入れてくれ、久しぶりに行ってもたくさん話してくれる、子どものことだけでなく、雑談しながら、色んなところで楽しい声が聞こえています。おもちゃもいちいち片付けず、それぞれの子どもが自由に遊んでいる、本当に居心地がいい場所だと思っています。</p> <p>鯖江市の強みかと思えます。ぜひ、人の支援は途切れることなく、未就園児対象のにじいろさんを卒業した子ども、温かい人達の中で見守られながら育つことができる環境を担保していただきたいと思っています。</p> <p>私は、自然に触れることの大切さを最近強く感じています。</p> <p>どろんこになりながら存分に遊べる場所、虫取りをしたり、水遊びをしたり…公園でもできるかもしれませんが、そういう場所をぜひ整備していただきたいと思っています。</p> <p>トイレや更衣室も整備してほしいです。</p> <p>私は北中山地区で、何をすることも街の方に出ていかななくてはならず、さみしい思いをしています。北中山、河和田や片上、自然を生かした場所に、ぜひ皆さんが行きたくなる魅力的な空間整備をお願いします。</p>	<p>利便性、経済性、安全性に配慮した改修を行う計画としており、トイレをはじめ、多様な人が快適に施設を利用できるよう、ユニバーサルデザインに配慮してまいります。</p>	12